

★腹部超音波検査とは

高い周波数の音波（超音波）を腹部にあて、その反射を画像化して腹部臓器の病変部を観察・診断する検査です。

★腹部超音波でわかる病気

肝臓・胆のう・膵臓・腎臓・脾臓などの腫瘍性の病気のほか、肝硬変、脂肪肝、胆石、胆のうポリープ、腎結石などを疑うことができます。

★検査方法

仰向きに寝てもらい、お腹にゼリーを塗って検査します。この検査に痛みや危険性はありません。検査時間は5～10分程度です。



★注意事項

食事をすると胆のうが収縮して見えにくくなったり、胃や腸のガスがでてよく観察できません。検査前6時間は絶食でお願いします。

（水・お茶は飲んでもかまいません）